

◇地元産業界との連携事業

『まちづくりへの貢献と建築系人材育成に資する学生主体の空き家再生活動事業』

担当者：岡本浩一（工学部教授）

※沼田町との包括連携協定に基づく事業の一つとして実施。

1. 連携先
沼田町

2. 連携事業における地域の課題及び課題解決に向けて設定した目標

人口減少と高齢人口割合の高まりを背景に、喫緊の対策を要する地域課題として空き家の問題がある。沼田町との包括連携協定に基づく協働事業のひとつとして、地域の特性に応じたオーダーメイドの空き家再生を計画設計し、地域のまちづくりに貢献する改修内容によって有意義な空き家活用を目指す。さらに、参加学生が沼田町の実情を知り、それに向き合いながら空き家活用の提案および改修の実践に取り組むことで、今後の北海道を支える人材の育成に繋げることが目標である。

3. 事業の内容

本事業は、沼田町のまちづくりの方向性や地域課題とこれまでの改修物件の活用状況等を把握し、沼田町役場や町民と意見交換のうえで、学生が主体となり改修対象候補物件の再生・活用提案から解体及び改修まで一貫して取り組む。また、町の伝統行事である夜高あんどん祭りに町民の一員として参加するなど町民との交流を通じ、学生と地域との縁を深める機会を設けている。

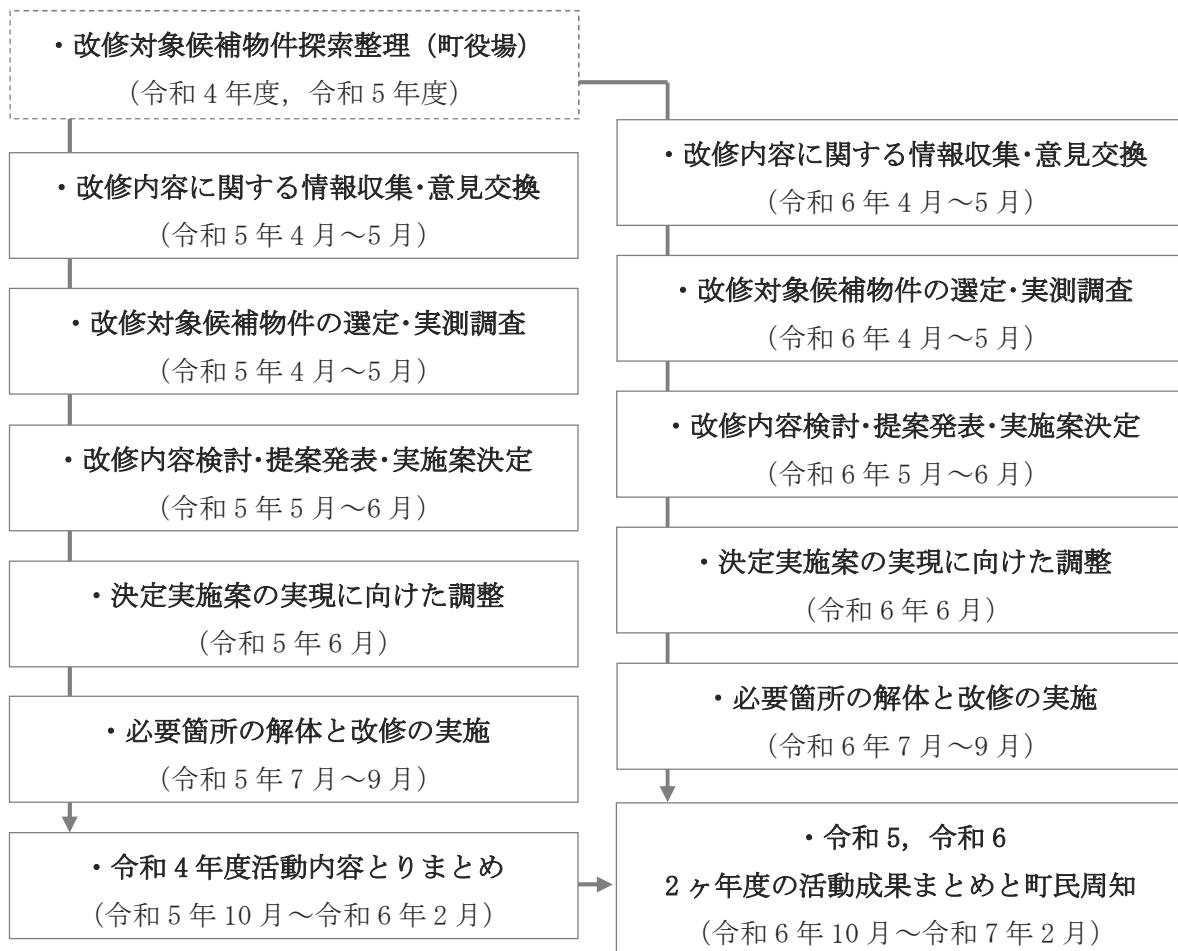
本事業の流れとスケジュール

令和5年4月～令和7年3月のスケジュールは以下の図のとおりである。

令和5年度と令和6年度のスケジュールは同様で、対象物件と参加学生が異なる。

令和6年度は「ボーダーレス・シェアハウス」をテーマに、改修作業を実施。

改修作業では沼田町を地元とする工務店や内装業者等の方々から、技術指導をいただいている。



◇地元産業界と連携した実践的 PBL を含む授業科目等

『まちづくりへの貢献と建築系人材育成に資する学生主体の空き家再生活動事業』

担当者：岡本浩一（工学部教授）

※沼田町との包括連携協定に基づく事業の一つとして実施。

1. 連携先

沼田町

2. 対象学部・学科

1 部 工学部 建築学科

3. 開講目的

沼田町との包括連携協定に基づく協働事業のひとつとして、地域の特性に応じたオーダーメイドの空き家再生を図り、地域のまちづくりに貢献する有意義な改修による空き家の活用を目指す。さらに、参加学生が沼田町の実情を知り、それに向き合いながら、空き家の活用の提案および改修の実践に取り組むことで、今後の北海道を支える人材の育成に繋げることを目的とする。

4. 具体的内容

今後、増え続けると予想される空き家問題の解決を目指し、沼田町職員等に支えてもらいながら、学生が主体となり改修対象候補物件の再生・活用提案から解体及び改修まで一貫して取り組む。

活動の流れは、以下の①～⑤のとおり。

①改修内容に関する情報収集及び沼田町との意見交換

全国の空き家改修事例を収集するとともに、まちづくりの方向性や地域課題を沼田町との意見交換により把握する。

②改修対象候補物件の選定と実測調査

意見交換をもとに改修対象候補物件を選定する。基本的に築年数が古く当時の設計図は失われているため、改修内容を3次元CADにより検討・立案できるよう詳細な実測調査を行う。

③改修内容の検討、提案発表・実施案決定

沼田町の意向を踏まえたうえ、学生主体で改修内容を検討し複数案を作成する。沼田町役場関係者や町民に各提案をプレゼンテーションし、聴衆全員の投票により実施案を決定する。

④実施案の実現に向けた調整

実施案の実現にネックとなる可能性が高い部分を先行して解体し、構造材等の位置を確認したのち、状況に応じて案の主旨を守りつつ実現可能な設計に改良する。

⑤必要箇所の解体と改修の実施

地元建築技術者や建築士による助言や指導のもと、学生自ら解体、資材選定、工程管理、改修作業等を行う。完成後のお披露目会は、町内全戸へのチラシ配布により周知のうえ開催する。